

# 景況調査

## 第20回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

### 1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

### 2. 調査の方法

オンライン・アンケート (887社\*)

※有効回答数525社 (回答率59.2%)

### 3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

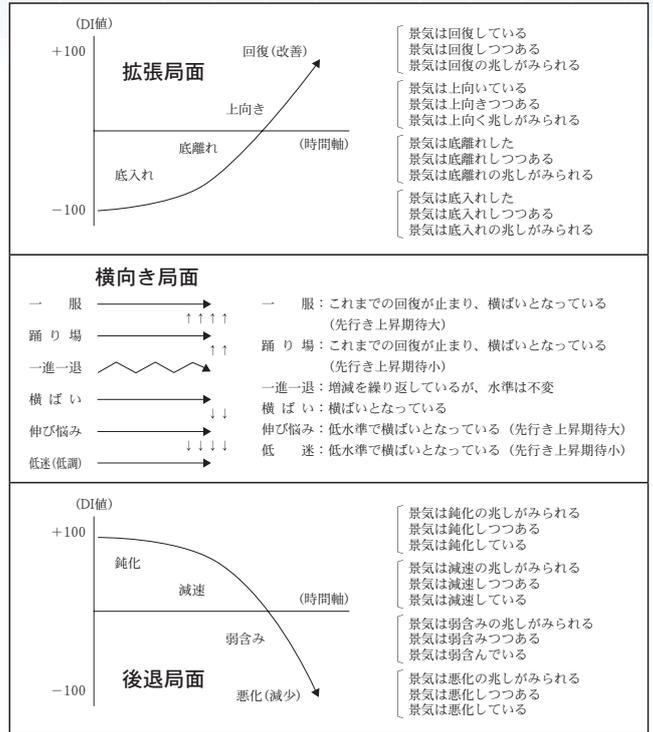
### 4. 調査期間

平成21年8月3日(月)~17日(月)

### 5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

### 6. 基調判断用語の凡例



## 景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値 (前年同期比) を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

### 天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

### (前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

### (今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

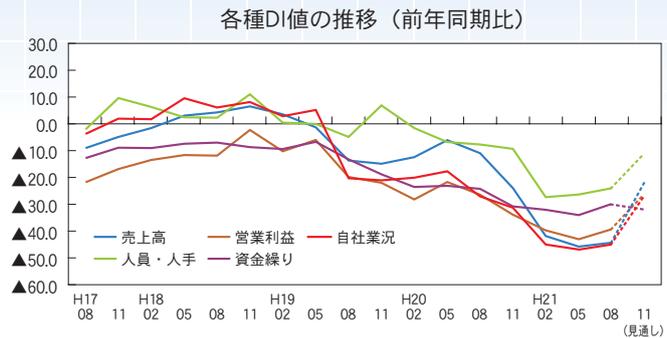
## ■ 県内企業の景気動向

**現状判断**：低い水準で横ばいとなっている。

業況は、自社の業況判断を示すDI値（「自社の業況」DI値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」DI値（前年同期比）は▲45.0となっており、前回調査時点（平成21年5月）と比べて1.6ポイント改善したが、低い水準で横ばいとなっている。

**来期の見通し**：回復の兆しがうかがえる。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が▲26.8となっており、先行き不安感が和らぐなど回復の兆しがうかがえる。



(前年同期比) (調査時点)	自社業況 (前期比)	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H21.05	▲46.6 (▲45.0)	▲45.4	▲42.7	▲26.1	▲33.7
H21.08	▲45.0 (▲30.2)	▲44.5	▲39.4	▲24.0	▲29.7
変化幅	1.6 (14.8)	0.9	3.3	2.1	4.0
H21.11 (見通し)	▲26.8 (—)	▲22.1	▲25.9	▲10.9	▲31.8
変化幅	18.2 (—)	22.4	13.5	13.1	▲2.1

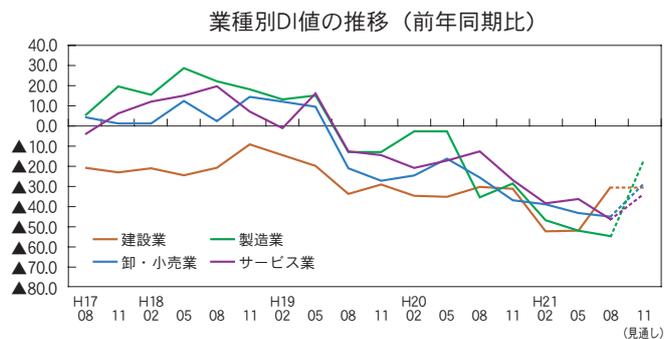
## ■ 業種別の動向

**現状判断**

業種別では、建設業が前回調査時点より21.7ポイント改善し、▲30.7となった。それ以外は前回調査時点よりも業況が低下しており、特に、製造業と卸・小売業は3期連続でDI値が過去最低を記録するなど、極めて低調となっている。

**来期見通し**

業況の先行き見通しは、製造業で最も明るく▲16.9となっている。そのほか、建設業を除いておむね先行き不安感が払拭されている。



(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H21.05	▲52.4	▲52.4	▲43.6	▲36.6
H21.08	▲30.7	▲55.2	▲44.8	▲46.7
変化幅	21.7	▲2.8	▲1.2	▲10.1
H21.11 (見通し)	▲30.7	▲16.9	▲28.8	▲33.6
変化幅	0.0	38.3	16.0	13.1

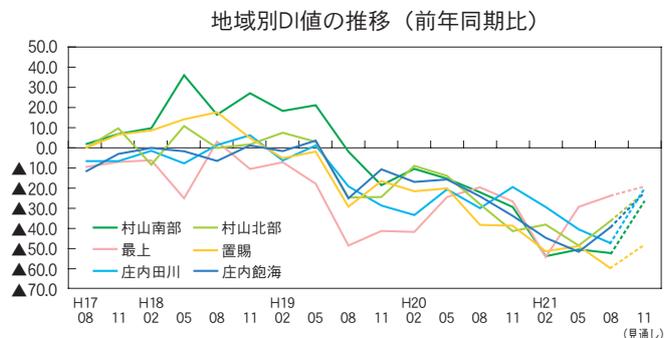
## ■ 地域別の動向

**現状判断**

地域別では、村山北部と最上、庄内飽海で前回調査時点と比べてDI値が改善したものの、置賜と庄内田川では引き続きDI値が過去最低を記録するなど、厳しい状況が続いている。

**来期見通し**

業況の先行き見通しは、すべての地域でDI値が改善を示すなど、一様に不安感が払拭されている。特に、村山と庄内では二けた以上の大幅な改善を示した。



(前年同期比) (調査時点)	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H21.05	▲50.4	▲48.4	▲29.2	▲48.7	▲40.4	▲51.5
H21.08	▲52.2	▲36.2	▲23.9	▲56.9	▲47.3	▲39.8
変化幅	▲1.8	12.2	5.3	▲8.2	▲6.9	11.7
H21.11 (見通し)	▲27.1	▲23.2	▲19.5	▲48.6	▲21.0	▲22.3
変化幅	25.1	13.0	4.4	8.3	26.3	17.5